引違い窓（プラマードU）

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
クレセントがかかりにくい。	クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない。 取り付けネジがゆるんでいる。	クレセント、またはクレセント受けの調整をしてください。 **参照➡【お手入れ・調整方法】** 「クレセントの調整方法」 「クレセント受けの調整方法」
	戸車の高さが合っていない。	戸車調整をしてください。 **参照➡【お手入れ・調整方法】** 「戸車の調整方法」
	窓が閉まりきっていないため、クレセントの空掛け防止機能が働いている。	窓を閉め直し、しっかり閉めきってからクレセントをかけてください
	クレセント本体が動かない、またはクレセント受けが曲がっている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店または当社お客様相談室に修理依頼をしてください。
戸先錠がかかりにくい。	戸先錠と戸先錠受けの位置が合っていない。	戸先錠の調整をしてください。 **参照➡【お手入れ・調整方法】** 「戸先錠の調整方法（窓・テラスタイプ共通）」
	戸車の高さが合っていない。	戸車調整をしてください。 **参照➡【お手入れ・調整方法】** 「戸車の調整方法」
	窓が閉まりきっていないため、戸先錠が戸先錠受けに届いていない。	窓を閉め直し、しっかり閉めきってから戸先錠をかけてください。
	戸先錠が動かない、または戸先錠受けが曲がっている	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店または当社お客様相談室に修理依頼をしてください。
窓の開け閉めがスムーズにできない。	はずれ止め部品の固定ネジがゆるんでいる。	はずれ止め部品の固定ネジをしめてください。 **参照➡【お手入れ・調整方法】** 「窓の取り付け方」
	下枠レールにゴミやホコリがたまっている。	清掃をしてください。 **参照➡【お手入れ・調整方法】** 「■下枠・レールのお手入れ」
	戸車にキズがついたり、すりへったりしている	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店または当社お客様相談室に修理依頼をしてください。
	経年劣化により、気密材にねじれや縮みが生じている。	
	枠と窓の部品（下部摺動片、気密材）にこすれがある。	
	上枠・下枠レールにキズ、変形がある。	
	経年変化により、鴨居が下がって柱が傾いたり、上枠が下がったりして枠全体が傾いている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。

当社お客様相談室　受付時間　月～土　9:00～17:00（日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く）　0120-20-4134

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
窓をロックした状態で窓がガタガタする。	戸先錠の場合、ロックした状態でも多少窓のガタツキがあります。	窓の不具合によるものではありません。ガタツキが大きい場合は戸先錠の調整をしてください。 **参照➡【お手入れ・調整方法】** 「戸先錠の調整方法（窓・テラスタイプ共通）」
	クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない。	クレセント、またはクレセント受けの調整をしてください。 **参照➡【お手入れ・調整方法】** 「クレセントの調整方法」 「クレセント受けの調整方法」
	戸車にキズがついたり、すりへったりしている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店または当社お客様相談室に修理依頼をしてください。
	クレセント本体が動かない、またはクレセント受けが曲がっている。	
	経年劣化により、下部摺動片、気密材、戸当り（開閉時に窓が当たる枠）などが破損している。	
窓をロックした状態で窓と枠にすき間がある。	戸車の高さが合っていない。	戸車調整をしてください。 **参照➡【お手入れ・調整方法】** 「戸車の調整方法」
	クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない。	クレセント、またはクレセント受けの調整をしてください。 **参照➡【お手入れ・調整方法】** 「クレセントの調整方法」 「クレセント受けの調整方法」
	経年変化により、鴨居が下がって柱が傾いたり、上枠が下がったりして枠全体が傾いている。	お取り扱いの建築会社、工務店、または販売店に修理依頼をしてください。
赤色表示が見える。  	開口部の経年劣化等により、上枠と窓のかかり寸法が設置当時より少なくなっている。	上枠と窓のかかり寸法が少ないまま使い続けると、窓が脱落するおそれがあります。 窓の使用をやめ、施錠状態にしたうえで、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。